

# 八峰白神ジオパーク

連載 112回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係

☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203

HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



## 5月26日は県民防災の日



日本海中部地震から37年。風化しないように伝えていくことが大切です。

## 八峰中学校で防災訓練 ～ジオパークと防災～

5月18日、県民防災の日（5月26日）を前に、八峰中学校で地震を想定した避難訓練を実施しました。生徒たちは、指示に従って整然と校庭へ避難しました。その後、場所を体育館に移し、ジオパークと防災の講話を行いました。日本海中部地震の体験者であり、おはなしの会「かもめ」の山本百合子さんを講師に日本海中部地震で発生した地震と津波の恐ろしさを伝えました。

被災者への取材を重ねて制作した紙芝居「きた！じしん つなみ」等の読み聞かせを行い、「津波きたどー!!!!」と山本さんの感情のこもった話しぶりに生徒たちは真剣に聞き入っていました。

山本さんは「津波はこわい。1番大切なのは自分の命を守ること。」と伝えていました。



## 日本海中部地震について

・昭和58年（1983）5月26日、秋田青森県境沖の日本海で地震が発生し、死者・行方不明者104人におよぶ災害が生じました。この被害の大半が、津波によるものでした。地震の規模はマグニチュード7.7、震源の深さ14km、秋田青森県境沖100kmの地点でした。

鎮魂のために設置された湯安の乙女像-台座の石は地震により崩れてきたもの、重さ約60トンある。（現在は改修してコンクリート製）



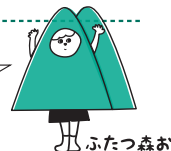
## ジオパークと防災

・ジオパークと防災は何が関係あるのかと思う方もいるかもしれません。地震や津波は、地球の活動によって生じることです。地球は私たちにたくさんの恵みを与えてくれます。その一方で地震や津波等大きな災害に見舞われることもあります。私たちが地球に生きている以上、この地球の活動による災害には逆らえないのです。地球をまるごと学ぶジオパークでは、そんな災害の経験や防災について伝えていく活動も行っています。

## ▶秋田のジオパークの活動紹介

秋田県ジオパーク連絡協議会（構成：男鹿半島・大潟ジオパーク、ゆざわジオパーク、八峰白神ジオパーク、鳥海山・飛島ジオパーク）では、学術的な面から地域の価値を創出し、学術資料の蓄積と情報発信を図るとともに、地域資源や地域の魅力の再発見に結びつけるため、研究助成事業を実施しています。

専門的で難しい内容ですが…研究助成事業を行っているので紹介します。身近な場所の研究なのでホームページをのぞいてみてください！



## 令和元年度の研究結果概要 ※詳細はホームページをご覧ください。

『鳥海山の山体崩壊により埋没したスギ材の研究』秋田県立大学 栗本康司

『男鹿半島の地形と海風収束雲の関係の探求』秋田大学 山下清次

『DNA解析によるトビシマカンゾウと鳥海山のニッコウキスゲの遺伝的関係の解明』山形大学 笹沼恒男

『津波発生時における河川への土砂遡上に関する研究

（八峰白神ジオパーク、竹生川河口域を模した水路実験による検討）』秋田大学 渡邊一也